



体力づくりは

学校 家庭 地域の連携で

…… 平成30年度 全国体力・運動能力、運動習慣等調査結果 ……

全国体力・運動能力、運動習慣等に関する調査(実技8種目および児童生徒質問紙)が、小学5年と中学2年を対象に実施されました。
 体力向上に向けて、体育の授業をはじめ、家庭や地域と連携した取り組みの充実が重要になります。まち総ぐるみで、子どもたちの体力づくりの取り組みが期待されます。

※お問い合わせは、教育委員会教育推進課(☎2-3014)まで

■体格(身長・体重・肥満痩身)の傾向

○小学校男子の身長は5年連続全国を上回り、体重は4年ぶりに全国・全道を下回りました。

○小学校女子は身長と体重ともに全国・全道を上回りました。また、約2割に軽度以上の肥満傾向があります。

○中学校男子の身長・体重は、2年連続で全国・全道を上回りました。

○中学校女子の身長は4年連続全国を上回り、体重は全国・全道を下回りました。



■種目別運動能力の傾向

○小学校男子は、「握力」と「20mシャトルラン」の2種目で全国を上回りました。しかし、他の種目は全国を下回りました。身体の柔軟性と瞬発力に課題があります。

○小学校女子は、「握力」「立ち幅跳び」が全国を上回り、「20mシャトルラン」「50m走」が全道を上回りました。女子も体の柔軟性に課題があります。

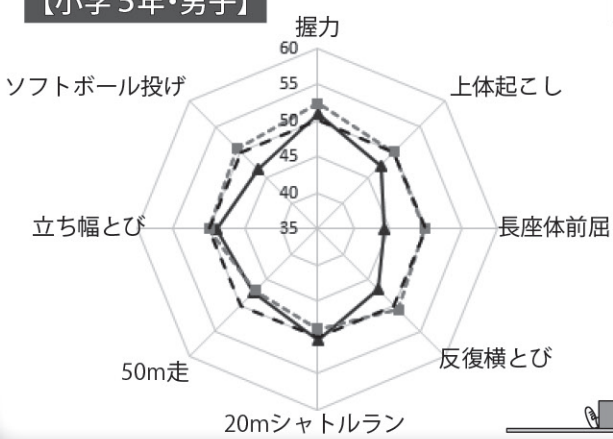
○中学校男子の「握力」「ハンドボール投げ」

町内小学校の状況(学校数:2校、児童数:44名)

▲ H30 上士幌町
 ■ H30 北海道
 - - H30 全国

【小学5年・男子】

【小学5年・女子】



小学生

○男子は、「握力」「20mシャトルラン」の2種目において全国を上回りました。
 ○女子は、「握力」「立ち幅とび」の2種目において全国を上回りました。

上士幌町の児童・生徒の体力の傾向

※全国平均を「50」とした場合の数値

は全国・全道を上回り、「20mシャトルラン」は全道を上回りました。「長座体前屈」は、2年連続全国・全道を下回りました。

○中学校女子の「握力」が4年連続で全国・全道を上回りましたが、他は全て下回り、「体力合計点」も全国・全道に比べて低いポイントになっています。



■「運動に対する意識や

運動習慣の傾向

○小学校男子は、「家の人と運動している」「一人で運動している」割合が高く、運動が好きの傾向がわかります。

○小学校女子の4割が、TVやゲーム・パソコン等の利用が1時間未満と答えており、自己管理ができています。

○中学生は男子も女子も「運動が好き」「運動は大切」と回答した割合が全国・全道よりも高いです。また、「体育の授業は楽しい」という肯定傾向は、小学校よりも中学校で高くなっています。

■「今後の取り組み

今回の調査結果からわかることは、小・中学校ともに「握力」が高いことです。一方、身体の柔軟性に課題があるもわかりました。体育の授業においては、この課題を意識して取り組むことが必要になります。

体力・運動能力テストで測る運動特性は「すばやさ」「ねばり強さ」「タイミングのよさ」「力の強さ」「体の柔らかさ」の5つです。この5つを今後もバランスよく定着させていきます。

上士幌町は、認定こども園から小・中学校、高校という繋がりを大事にしていますので、年度ごとの子どもたちの運動に関する実態や課題をしっかりと引き継いで指導していきます。

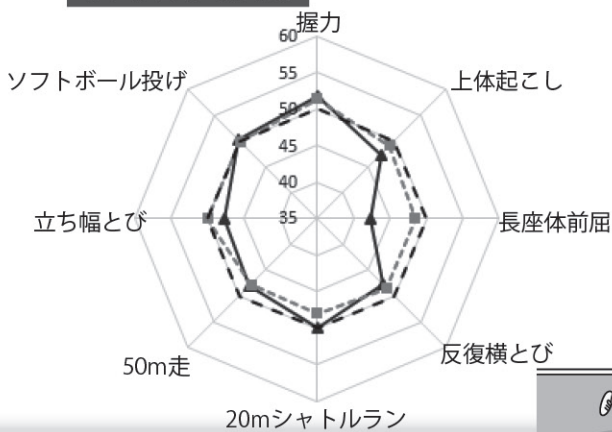
また、学校だけではなく、家庭・地域が連携し「運動」を日常化することが大切です。子どもたちに生涯にわたって「運動する」意欲や態度を育むことは地域全体で取り組んでいかなければなりません。



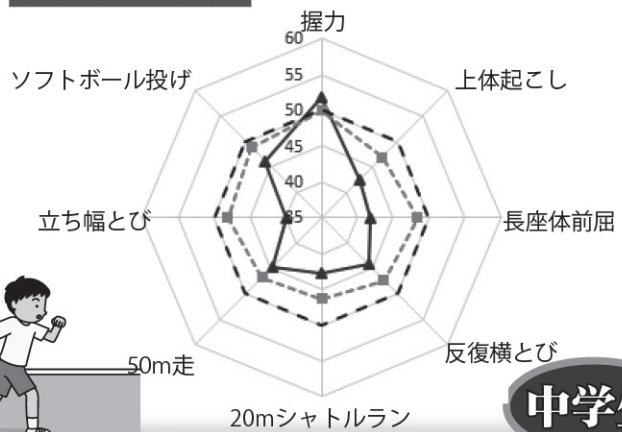
町内中学校の状況（学校数：1校、生徒数：52名）

—▲— H30 上士幌町
—■— H30 北海道
- - - H30 全国

【中学2年・男子】



【中学2年・女子】



中学生

○男子は、「握力」「ハンドボール投げ」の2種目において全国を上回りました。
○女子は、「握力」において全国を上回りました。